

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

奥 入 瀬 紀 行

松 岡 翼

(社会医療法人 弘道会 なにわ生野病院外科)

この8月下旬に夏休みを利用して、青森県は奥入瀬溪流から十和田湖を家族で訪れました。飛行機を利用し、伊丹空港から1時間半程で青森空港に到着。その後はレンタカーで移動しました。免許を取りたての娘の運転にひやひやしながら信号の殆どない田舎道を走ること1時間以上。えらい遠出になってしもたなあ、ほんまに着くんやろかと若干不安になっていると、突然本日宿泊予定である“奥入瀬溪流ホテル”の看板が目に入り一安心。溪流沿いの道路に入ると、テレビのCMに出てくるような綺麗な新緑に包まれた景色に、日頃の仕事で溜まったストレスが急激に解消されていくのを感じました。

ホテルにチェックイン後、早速散策を開始しました。奥入瀬は奥羽山脈に位置する山上の湖、十和田湖から流れ出す唯一の川であり、流出口である子ノ口から、八甲田山より流下する鳶川との合流点・焼山までの区間が「奥入瀬溪流」と呼ばれています。源流の十和田湖からホテルがある焼山までは14kmほどの距離があり、徒歩では4～5時間掛かるとのこと。流石に50歳代勤務医の体力では全部は歩けないので、初日は車を利用し景勝スポットを見て回ることにしました。まずはホテルから4kmほどの上流の、駐車場がある石

ケ戸と呼ばれる休憩地点で車を降り、溪流沿いを歩きました。

深い自然林におおわれた奥入瀬川。それが織りなす溪流は、兩岸に大小の滝を落とし変化に富んだ千変万化の溪流美を展開します。溪流の周囲は大木の枝が重なり空を覆うほどで、原生的な森を形成します。その両側に切り立った断崖は、軽石や火山灰が高温の状態で堆積し生成された溶結凝灰岩といわれるもので、奥入瀬の景観に迫力をもたらしています。そこに生息する植物も多種多様で、色鮮やかな樹木や、緑の映えるコケ、羊歯類などが茂り、宮崎駿監督の映画「もののけ姫」に出てくる風景が現実に目の前に拡がります。一方断崖では溪流に注ぎ込む支流の滝が



九段の大滝

数多くあり、それゆえ奥入瀬溪流では有名な滝が幾つも存在します。折角来たのだから滝を見学しよう、と車に再度乗り込み、ガイドブックを頼りに移動を再開しました。

断崖から20メートルの高さを三段になって落下する「雲井の滝」、高さは15m程ですが岩が段々になった「九段の滝」など素晴らしい滝が目白押しですが、一番目を引いたのは上流部分にある「銚子大滝」です。奥入瀬溪流の滝のなかで一番水量の多い、幅20m、高さ7mの横長の豪快な滝で、間近で見られるので水しぶきが飛んできて、まるで心が洗濯されるような清涼感を覚えました。水辺に立ち、溪流の水に手を触れると、その“しゃっこさ”にビックリ!!と同時に、外科勤務医としての日々の業務に忙殺され、このような大自然との触れ合い、感動を長い間忘れていたなあ、と深く考えさせられました。水の透明度が高いことにも驚きました。東北（田舎?）だからかと思っていましたが、夜ホテルであった「森の学校」という催しで聞いた話で合点がいきました。約20万年前から火山活動を始めた十和田火山は、数万年前に特に大規模な活動を起こしました。噴火に伴う大量の火山噴出物のために火口が陥没し、大きくなくぼみが形成されました。そこに周囲から雪解け水が流れ込み、湖が形成されたということです。つまり、十和田湖は火山の山頂部に水が溜まったカルデラ湖であり、山から

流れ込む水がなく、雪解け水など、底から湧き出る水で形成されているのです。綺麗で透明度が高いわけです。奥入瀬の樹林のベースは火砕流の台地であり、すべての植物は岩の上で生息しています。岩肌を地衣類、苔水が覆い、これらが醸成した薄い土壌から樹木が生着し、まるで日本庭園のような幽玄なる景観を作り出しているのです。全く趣き深いことです。

翌日はレンタカーで三沢市へ移動し空港などを観光、2泊3日の青森旅行を満喫しました。今後の自分の人生で、また奥入瀬に行くことがあるのだろうか?と思うと少し寂しい気分になります。いやいや、人生まだまだ。それに、秋の奥入瀬も見てみたいし!と無理やり自分を納得させ、青森空港を後にしたのでした。

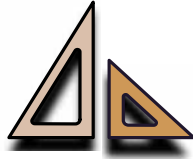
さて早いもので、なにわ生野病院も新設して4年近くが経とうとしています。開設当時より、当病院の基本方針である救急治療、癌治療、地域連携の3本柱を発展させるべく職員一同頑張ってまいりました。その甲斐もあってか、二次救急に対応する病院が減少し続けているにも関わらず、救急件数は増加の一途をたどっており、この7月は450件の救急搬送を受け入れることができました。今後さらに浪速区の地域中核病院となるべく更なる精進を重ねていく所存ですので、今後もより一層の、患者さんの紹介を含めたご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。



銚子大滝

参考文献：NPO 法人奥入瀬自然観光研究会（2016）「奥入瀬自然誌博物館」

理事会報告



◎平成 30 年度 9 月定例理事会

日 時 平成 30 年 9 月 28 日〈金〉

午後 8 時～9 時 50 分

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 災害発生時の医療救護体制について

＜澤井会長＞

浪速区役所より緊急災害時の医療班派遣要請について浪速区医師会、歯科医師会、薬剤師会との協力体制を構築したいとの申し出があった。ちなみに平成 24 年度に浪速区役所と本会、歯科医師会、薬剤師会とで「災害時における連携内容についての申合わせ事項」を締結している。

協議の結果、区内 3 班にわけ、会員に緊急災害時におけるの協力可否と確認することと、緊急災害ネットワークに一部情報を追加し、協力体制を整えることとなった。

2. 医師とケアマネ連絡会（11 月 10 日〈土〉）の講演について

＜橋村理事＞

例年どおり、標記連絡会を開催する。日時は午後 2 時から、場所は社会福祉協議会である。

当日の挨拶と講演（15 分程度）を決めたい。

協議の結果、挨拶は澤井会長、講演は原田理事となった。

（※ 講演は後日変更）

3. その他

なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について （8 月 24 日・9 月 28 日〈金〉）

＜澤井会長＞

各日程の次第は次のとおり。

【8 月 24 日〈金〉】

▷開会

▷会長挨拶

▷郡市区等医師会新会長のご紹介・挨拶

▷連絡事項

(1) 協会けんぽ大阪支部 糖尿病性腎症重症化予防事業実施にかかる協力依頼の件

(2) 「大阪 880 万人訓練」実施に係る協力依頼の件

(3) 9 月度行事・会合日程の件

(4) その他

▷閉会

【9 月 28 日〈金〉】

▷開会

▷会長挨拶

▷連絡事項

(1) 「第 30 回日本医学会総会 2019 中部」に関する件

(2) 平成 30 年 7 月豪雨による被災医療機関等に対する支援金の件

(3) 医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査実施の件

(4) 平成 30 年度郡市区医師会主催社会保険指導講習会開催依頼の件

(5) 10 月度行事・会合日程の件

▷協議

▷閉会

（詳細 略）

2. 浪速区役所との災害発生時の対応に関する打合せについて

（9 月 19 日〈木〉）

＜澤井会長＞

大阪市の災害ガイドライン（H30/3 月）に沿って、区役所より災害時の医療班派遣要請について説明を受けた。実際、派遣要請に必ず応じられるとは約束できないが、区内 3 班程度にグループ編成をし、

連絡先などの資料を提供し協力することとなった。

(詳細 略)

3. 大阪市医師会連合会委員会について
(9月10日〈月〉) <有田副会長>

次第は次のとおり。

▷協議事項

(1) 平成29年度歳入歳出決算の件

▷報告事項

(1) 平成31年度大阪市予算の編成に対する要望(8月27日)報告の件

(2) 大阪市立総合医療センター地域医療連絡協議会(7月26日)報告の件

(3) 第1回大阪市医療・病床懇話会(8月6日)報告の件

▷連絡事項

(1) 平成30年度大阪市インフルエンザ予防接種の件

(2) 平成30年度大阪市立学校園教職員ストレスチェック制度にかかる面接指導業務委託契約の件

(3) その他

▷会議日程

(詳細 略)

4. 大手前病院地域医療支援病院運営委員会について

(9月20日〈木〉) <久保田副会長>

次第は次のとおり。

▷開会

▷挨拶

▷議事

(1) 審議事項

(2) 報告事項

(3) その他

▷閉会

(詳細 略)

5. 医療情報委員会について

(9月27日〈木〉) <久保田副会長>

次第は次のとおり。

▷開会

▷挨拶

▷自己紹介

▷正・副委員長の選出について

▷諮問事項について

▷報告事項

(1) 前期委員会活動について

(2) その他

▷協議事項

(1) 委員会の運営について

(2) 医療情報に関する講演会について

(3) 日本医師会医療情報システム協議会について

(4) 諮問事項について

(5) その他

▷次回日程

▷閉会

(詳細 略)

6. 浪速消防署との意見交換会について

(9月6日〈木〉) <原田理事>

内容は下記のとおり。

①昨年度の救急隊出動実績報告

大阪市：約230千件

浪速区：約8千件

年々増加、搬送人員の約6割は軽傷である。

②浪速区の搬送

ブルーカードを所持している人は搬送がスムーズに出来、仕事になる。

③病院間転送(転院搬送)

大阪市地域メディカルコントロール協議会で決まった。

病院の依頼による転送は、受け入れ病院の了解をとってから消防に依頼する。

④転院依頼書・転院搬送の要請フローチャートも作成された。

(詳細 略)

7. 救急医療研修会について

(9月13日〈木〉) <原田理事>

次第は次のとおり。

▷開会

▷挨拶

-
- ▷講演
▷質疑応答
▷閉会
(詳細 略)
8. 大阪市内医師会介護保険担当理事連絡協議会について
(7月30日<月>・8月30日<木>)
<橋村理事>
各次第は次のとおり。
【7月30日<月>】
▷開会
▷協議
(1) 大阪府が実施する「自立支援型ケアマネジメント検討会議」について
(2) 自立支援ケアマネジメントにおける意思の役割
(3) 質疑応答
▷その他
▷閉会
【8月30日<木>】
▷開会
▷研修
(1) 自立支援型ケアマネジメント検討会議のすすめ方について章
(2) 模擬検討会議
(3) 模擬検討会議の振り返りと会議の進め方のポイント
▷質疑応答その他
▷閉会
(詳細 略)
9. 認知症初期集中支援推進事業第2回関係者会議について
(7月31日<火>)
<橋村理事>
次第は次のとおり。
▷出席者紹介
▷今年度のチーム員の支援状況報告
▷事例報告・検討
▷認知症に関する活動報告
(詳細 略)
10. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議について
(8月22日<木>)
<橋村理事>
次第は次のとおり。
▷在宅医療介護講演会について
▷アンケート「平成30年6月18日発生大阪北部地震での対応について」の集計結果について
▷その他
(詳細 略)
11. 学術講演会について
(7月21日<土>)
<富永理事>
講演内容は次のとおり。
演題 肺癌治療の現状と今後の展望
講師 関西医科大学附属病院 呼吸器腫瘍内科 准教授 吉岡 弘鎮 先生
出席者数 14名
共催 MSD 株式会社
情報提供 免疫チェックポイント阻害剤 キイトルーダ点滴静注に関して
(詳細 略)
12. 浪速区健康展第3回実行委員会について
(9月27日<木>)
<岡藤理事>
第34回浪速区健康展について協議をおこなった。
(詳細 略)
13. 病診連携委員会について
(8月27日<月>)
<入野理事>
次第は次のとおり。
▷第87回病診連携委員会報告について
▷浪速消防署からの報告について
▷連携病院の救急搬送状況について(アンケート)
▷ブルーカード登録数について
▷その他
(詳細 略)
14. 医療問題研究委員会について
(9月12日<水>)
<福永理事>
次第は次のとおり。
-

- ▷開会
- ▷会長挨拶
- ▷委員及び役員の紹介
- ▷本委員会の開催予定
- ▷講演「医療制度史から見た我が国の医療現状（前半）」
大阪府医師会長 茂松茂人
- ▷意見交換
- ▷次回の予定
- ▷閉会

（詳細 略）

15. その他 なし。

次回理事会

平成 30 年 10 月 26 日〈金〉 午後 8 時～



9 月度 学術講演会報告

日 時 9 月 8 日〈土〉 午後 2 時
演 題 肺癌治療の現状と今後の展望
講 師 関西医科大学附属病院
呼吸器腫瘍内科
准教授 吉岡弘鎮 先生

出席者数 14 名
共 催 MSD 株式会社
情報提供 免疫チェックポイント阻害剤
キイトルーダ点滴静注に関して
担 当 富永良子

肺癌の治療成績は向上しているが未だに死亡率は高い。特に大阪府は、北海道に次いで肺癌死亡率は全国 2 位で年間 5000 人以上が亡くなっている。背景に女性の喫煙率の高さや検診受診率の低さがあり、肺がん診療にかかわる医療者としてはこれらの改善に引き続き努める必要がある。

肺癌の原因は、主に喫煙であるが、大気汚染やアスベストの粉塵暴露などもよく知られている。間質性肺炎合併肺癌では高率に肺癌を合併するために注意が必要である。肺癌の自覚症状は乏しく、症状が出現したときには進行癌になっていることが多いため、検診での早期発見が治療のカギとなる。

肺癌は主に小細胞肺癌と非小細胞肺癌に分類され、小細胞肺癌はここ 20 年新規薬剤の開発がなく進歩が乏しい状況であるが、非小細胞肺癌で適応のある免疫チェックポイント阻害剤による治療成績の向上が期待されている。非小細胞肺癌は、治療薬剤の適応の点から非扁平上皮癌と扁平上皮癌に分けて治療が進められる。

非小細胞肺癌の薬物療法の目的は、進行非小細胞肺癌における主に延命と QOL 改善である。その他に周術期に治療率向上を目指す

術前および術後化学療法もある。進行非小細胞肺癌の薬物療法は、2000年までは古くは1970年後半から開発されたシスプラチンを代表とする細胞障害性抗癌剤が中心であったが、2002年のゲフィチニブを皮切りに次々と分子標的治療薬が開発され、適応となる患者は限られるが進歩の中心となっている。さらに2015年12月に最初の免疫チェックポイント阻害剤であるニボルマブが非小細胞肺癌に適応拡大となり、その後も開発が進み著しい治療成績の向上を示している。

分子標的治療薬の癌細胞に特異的に変化している遺伝子やタンパクなどに作用して治療効果を発揮する薬剤である。特に細胞成長等のシグナル伝達において重要なリン酸化をつかさどるキナーゼ(酵素)を阻害する薬剤がドライバー遺伝子異常を有する非小細胞肺癌に高い効果を示している。肺癌診療ガイドライン2017年版ではドライバー遺伝子異常があった場合にはそれに対応するキナーゼ阻害剤が第一選択として推奨され、現在、EGFR(上皮成長因子受容体)、ALK(未分化リンパ腫キナーゼ)、ROS-1、BRAFの4つの遺伝子異常が保険適応で測定され、治療選択に生かされているが、今後も多くの遺伝子異常が実地臨床で測定されるようになると思われる。

免疫チェックポイント阻害剤は、リンパ球の活性を調節する免疫チェックポイント分子を介して治療効果を示し近年著しい発展をみせている。現在、ニボルマブ、ペムブロリズマブ、アテゾリズマブ、デュルバルマブの4薬剤が承認されており、多くはIV期進行非小細胞肺癌に適応があるが、局所進行肺癌に対して根治的放射線療法を行ったあとの維持療法に適応を持つ薬剤も出てきている。一部の症例には長期奏効が期待され、薬剤中止後も治療効果が続くことも稀ではなくそういった症例では治癒の可能性も示唆されている。他にも特徴的な治療経過としてPseudo-progressionといわれ、投与後一時的に腫瘍が増大するもその後腫瘍が縮小に転じる経過が知られている。免疫チェックポイント阻害剤の副作用は免疫関連有害事象と呼ばれ、自

己免疫疾患に似たような病態が生じ、時に重篤なものも発現するため、我々は適切なマネージメントを行う必要がある。今後、免疫チェックポイント阻害剤と細胞障害性抗癌剤や分子標的治療薬を組み合わせた併用療法の可能性が大変期待され、注目されたい。



11 月度学術講演会のお知らせ

11月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成30年11月17日(土)

午後2時～4時

場所：腫瘍循環器 会議室

演題：「腫瘍循環器学～

がんと循環器の二刀流?～」

講師：地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

腫瘍循環器科 主任部長

藤田 雅史 先生

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。

浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

9月の相談件数は、1件でした。地域包括より、往診可能医師の依頼、訪問診療・往診の金額に関してでした。在宅診療、介護にかかる診療料、利用料は、ケースによって変わりますので説明させていただきました。

在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください。よろしくお願いします。



相談受理実績

■ 個別ケースに関する相談（H30.9月度）

① 医科	0件
② 歯科	0件
③ 薬局・薬剤師	0件
④ 病院 地域連携相談室	0件
⑤ 訪問看護	0件
⑥ 介護支援専門員	0件
⑦ 地域包括支援センター	1件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	0件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	0件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0件
⑫ 区民	0件
⑬ その他（研修機関）	0件
合 計	1件

■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	1件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	1件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	0件
	④ 歯科に関して	0件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0件
	⑥ 訪問看護に関して	0件
	⑦ 医療の手続きに関して	0件
	⑧ その他	0件
② 介 護	① ケアマネに関して	0件
	② 地域包括支援センターに関して	0件
	③ 介護事業所等に関して	0件
	④ 介護の手続きに関して	0件
	⑤ その他	0件
	③ 退院支援に関して	0件
	④ 看取りに関して	0件
	⑤ その他（内容：児童デイについて）	0件
	合 計	2件

<お問合せ> 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル50B
TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058



浪速区医師会 活動の伝言板

平成 30 年 11 月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3歳児健康診査

●保健福祉センター

11 月 22 日(木)午後 1 時 40 分～3 時 30 分

小児科 本田 秀明・橋村夏野子

眼 科 吉野 成泰

耳鼻科 中村 泰久

1歳6ヶ月児健康診査

●保健福祉センター

11 月 1 日(木) 午後 1 時 40 分～3 時 30 分

川田 信哉

BCG 接種

●保健福祉センター

11 月 15 日(木) 午後 2 時～3 時 30 分

北村 栄作・橋村夏野子

急病診療所出務

●中央急病診療所

11 月 18 日(日) 深夜 22:00～30:00

小池 洋志

●今里休日急病診療所

11 月 25 日(日) 10:00～17:00

城村 尚登・川田 信哉

大阪府医師信用組合『いししん』は医師会員のための専門金融機関です。

組合員にご加入いただき、当組合のサービス(預金・ローン・お振込み等)を是非ご利用ください。

いししんはドクターのクリニック経営をご融資でサポートいたします。

新規開業ローン

診療所ステップアップローン

診療所継承ローン

無担保型	限度額	期間
3億円	新規開業ローンは 2億円まで	35年以内
無担保型	限度額	期間
5,000万円		20年以内

- クリニック開業に関する資金
- クリニックの移転や医業拡大に関する資金
- クリニック継承に関する資金
- 上記資金用途の他行借入金のお借換え

自動車の購入やディーラーローンお借換えに。

オートローン

無担保型	限度額	期間
1,000万円	7年以内	
●大阪府医師自動車連盟の会員様は、金利優遇が ございます。		
●個人名義で500万円以下のお申込みの場合は、 原則「連帯保証人」は不要です。		

お子様の教育に関する資金に。

教育ローン

無担保型	限度額	期間
5,000万円	20年以内	
無担保型	限度額	期間
3,000万円	20年以内	

住宅の耐震、バリアフリー工事にもご利用いただけます。

住宅リフォームローン

無担保型	限度額	期間
5,000万円	20年以内	
当初5年間、当初10年間の固定金利型もございます。		
●自宅・セカンドハウスの リフォーム資金に		

●ローン金利についてはお問い合わせください。申込時ではなく、実際にお借入れいただく日の金利が適用されます。●上記ローンは原則として、ご返済終了時にお借入れされる方の年齢が満75歳(開業及び継承ローンは満80歳)を超える期間でのお申込みはお受けできません。●ローンには審査がございます。審査結果によってはご希望にそえない場合がございます。何卒ご了承ください。●上記ローン以外にもローン商品を揃えております。詳細については下記の「融資お問い合わせ専用番号」までお気軽にお問い合わせください。担当者が訪問することも可能です。

〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町19-14 (大阪府医師会保健福祉センター1階)

融資お問い合わせ専用番号

☎0120-947-604 (平日9:00～17:00/土日祝)

大阪府医師信用組合

(いししんのホームページ)

<http://www.odcu.co.jp>



あとがき

山田 郁子

大きな台風が二度も大阪にきた9月がようやく過ぎ、10月になりました。2018年6月18日には大阪府北部地震がありました。突然やってくる地震と違い、台風は進路予想により、被害を最小にとどめるべく準備が可能ですが、9月4日に大阪を直撃した台風21号(アジア名チェビー、フィリピン名メイメイ)は特に近畿地方に大きな大きな被害をもたらしました。“大阪のおっちゃん、おばちゃん”がよく口にされる言葉に、「大阪は災害の被害は少ないから大丈夫やねん!」がありますが、今回ばかりはそうなりませんでした。台風で屋根の瓦がとぶ、信号機が倒れたりゆがんだり、御堂筋の大きな木が折れる、車がひっくり返る、関西国際空港の連絡橋にタンカーが衝突し、連絡橋が中破する、、、予報通りの大きな台風でしたが、被害については想像以上でした。台風21号ののちに、外来受診に来られた人生の大先輩方から1961年の第2室戸台風や1950年のジェーン台風についてのお話をいろいろ伺いました。今回の台風21号にも日本名で名前がつくのでしょうか。

今回の台風では停電も大きな問題となりました。訪問診療で人工呼吸器を装着されている患者さん宅でも停電がありました。呼吸器装着のすべての方が緊急時に備え、呼吸器、吸引機のバッテリーや手動式の吸引機を準備されていますので、緊急時の対応はなんとかできるかと考えておりましたが、さすがに数日間の停電が続いたお家では、近くの病院に入院させていただきました。今回の停電ではじめて気付いたことがあります。近年はベッドの機能も良くなり、以前の手動式でなく、全自動です。となると、停電では動かなくなるということ。頭部を挙上した状態で停電になり、体位変換も不可能になり、呼吸器のためではなく、ベッドが動かないために入院とな

りました。便利なものは、電気がないと大変不便になるということを改めて実感した次第です。

松岡先生の奥入瀬紀行を読ませていただき、自分自身も奥入瀬の美しい景色を見に行かせていただいたような気持ちになりました。ご家族で、免許取立ての娘さまの運転で行かれるなんて、なんて素敵なのでしょう。「もののけ姫」にでてくる風景が目の前に広がる、多数の迫力ある滝の存在、大阪からは決して近くはない青森ですが、いつの日か家族で行きたいと思いました。

台風で始まり、台風で終わった感のある9月。台風21号による大きな被害の後にきた台風24号は幸いなことに大きな被害はありませんでしたが、今後も自然災害に油断することなく、平成最後の10月、11月、12月、そしてお正月を平安に迎えられることを祈りつつ、あとがきを終わらせていただきます。



目次	ページ
巻頭言	
奥入瀬紀行 松岡 翼	1
理事会報告(9月開催)	3
9月度学術報告 富永 良子	6
11月度学術講演会のお知らせ	7
浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ	8
浪速区医師会活動の伝言板	9
あとがき	10

【区医だより】

発行者 澤井貞子
編集者 中村泰久 藤吉理夫
印刷所 株式会社 サ ビ